

長崎市の新たな恐竜などの化石公開について

福井県立恐竜博物館と長崎市教育委員会は、平成 25 年度から行っている共同研究調査により、長崎市内の長崎半島西海岸に分布する白亜紀後期の三ツ瀬層（約 8 1 0 0 万年前）から複数の恐竜等の化石を発見しております。

今回は平成 25 年度から平成 27 年度にかけて発掘し、これまで未公表の恐竜やカメの化石について報告いたします。

記

1 発見化石

【別紙 1】

- (1) 獣脚類恐竜の歯（2 点）
- (2) 獣脚類恐竜の歯の一部（3 点）
- (3) 恐竜の肋骨の一部（2 点）
- (4) 小型獣脚類の末節骨（指先の骨）（1 点）
- (5) 恐竜の骨質化した腱の化石（2 点）

【別紙 2】

- (1) スッポン上科（アドクス科）の背甲の一部（2 点）
- (2) スッポン上科（アドクス科）の右肩甲骨（1 点）
- (3) スッポン上科（スッポンモドキ科）の背甲の一部（1 点）
- (4) スッポン上科（スッポンモドキ科）の縁板の一部（1 点）
- (5) スッポン上科（スッポン科）の背甲の一部（2 点）
- (6) スッポン上科（スッポン科）の右坐骨（1 点）

2 発見場所 長崎市の長崎半島西海岸

- 3 特記事項 恐竜化石には獣脚類の歯、指先の骨（末節骨）、肋骨の一部や骨質化した腱の化石が含まれています。また大型スッポン類などのカメ類の化石も発見され、恐竜だけでなく、多くの脊椎動物が白亜紀後期の長崎に生息していたことが再確認できました。これらは日本の白亜紀後期の脊椎動物相の多様性を知る重要な証拠となります。新たに公表される実物化石は下記の予定で長崎市にて一般公開されます。



獣脚類恐竜の歯（2点：中央と左下）と歯の一部（他3点）
右上はティラノサウルス科の可能性が有る。左上下2点は平成26年度、
その他は平成27年度の発掘。

（画像提供：長崎市教育委員会／福井県立恐竜博物館）



肋骨の一部（2点：左と中央上）、末節骨（右上、白の台上）、
および骨質化した腱（右下2点）

肋骨の一部（平成26年度発掘）と骨質化した腱の化石（平成27年度発掘）の
恐竜の種類は不明。末節骨（＝指先の骨、平成26年度発掘）は小型獣脚類の
ものとみられる。

（画像提供：長崎市教育委員会／福井県立恐竜博物館）



スッポン類（スッポン上科）の化石

アドクス科の化石は背甲の一部（左上2点）と右肩甲骨（中央）、スッポンモドキ科の化石は背甲（右上）と縁板（右中）の一部、スッポン科の化石3点は、背甲の一部（右下2点）と骨盤の一部（右坐骨）。アドクス科の肩甲骨とスッポンモドキ科の背甲の化石は甲長40cmを超える大型の個体のもので、共に平成25年度に発掘。スッポンモドキ科の縁板は平成26年度、他は全て平成27年度の発掘。

（画像提供：長崎市教育委員会／福井県立恐竜博物館）